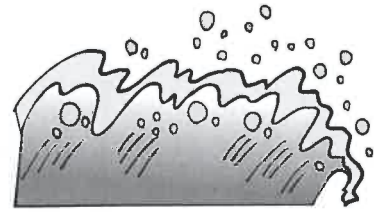


# 津波災害に対する 防災訓練を実施しました



▲大山町建設業協議会・大山町消防団による土のう設置の様子

10月28日(日)に防災関係機関の災害発生時の応急対策活動の検証と町民に対する防災意識の高揚を図ることを目的に、境港市で開かれた「とっとり防災フェスタ2012」にあわせて、津波の発生を想定した防災訓練を行いました。訓練には、沿岸部の23集落・施設から607人、大山町消防団や八橋警察署、大山消防署、赤十字奉仕団、大山町建設業協議会などの関係機関からおよそ110人が参加しました。

今回の訓練は、『新潟県佐渡北方沖と鳥取県西部沖断層を震源とする推定マグニチュード7.05、震度6強の実施が発生し、鳥取県に大津波警報が発表された。沿岸地区での津波高さは最大7.6mが想定され、大規模な被害が予想される』との想定で行われました。これを受け、町は災害対策本部を設置し、災害状況の把握と各機関への出動要請、沿岸地域に避難指示を発令しました。住民のみなさんは区長さん等の指示のもとにあらかじめ決められた避難場所へ避難しました。参加したみなさんは本番さながらに真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

その他には、赤十字奉仕団による炊き出し訓練、大山町建設業協議会による土のうづくり・設置の訓練も行いました。地震や津波といった自然災害はいつ発生するか分かりません。日頃から防災に対する理解と防災意識を持つことが大切です。強い地震を感じたらすぐに高所に避難することや、避難場所や連絡方法について家族で話し合っておく、また、地震に備えて、背の高い家具をL字金具で固定する、転倒防止ベルト等を用いるなど、家の中の安全対策を進めておきましょう。

## 防災行政無線等を用いた 全国一斉の緊急情報の伝達試験の 実施について

12月12日(水) 10時頃  
10時30分頃 の2回



大山町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(J-ALERT)から送られてくる国からの緊急情報を、確実に町民の皆様にお伝えするため本年度2回目の緊急情報の伝達試験を行います。

※J-ALERT(ジェイ・アラート)とは、地震・津波や武力攻撃等の災害時に国から送られてくる緊急情報を人工衛星等を活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

大山町が当日実施する試験は次のとおりです。

- 情報伝達手段 防災行政無線の放送
- 内容 次の放送内容が一斉に放送されます。

### 【放送内容】

「これは、試験放送です」  
(※3回くりかえす)  
「こちらは、ぼうさい大山町です」  
防災行政無線チャイム

問い合わせ先 総務課 ☎0859-54-5201